

## 施策事例 ⑦ 教育・文化・スポーツ関連施策

# CATVを活用した安否確認見守りネットワーク事業 CATVを活用したひとり暮らし高齢者等緊急通報器設置事業

### 自治体情報 大分県豊後高田市

人口 / 24,149人 標準財政規模 / 9,322百万円

担当課 福祉事務所  
電話番号 代表 0978-22-3100  
実施主体 豊後高田市  
関連ホームページ <http://www.city.adachi.tokyo.jp/>

事業期間 平成21年度から  
関係施策分類 ①、⑥

### 予算関連データ

総事業費：6,259千円

名称	所管	金額(千円)
一般財源	-	6,259

## 施策のポイント

本市では過疎・高齢化が進む中で高齢者が安心して暮らせる環境を実現するため、市内全域に整備したCATV施設を活用して、市民との協働による高齢者の見守り確認及び緊急通報システムを整備した。

## 施策の概要

### 1. 取組に至る背景・目的

本市では、都市部との情報格差を是正するとともに住民福祉の向上に資する多彩な行政サービスの提供を目指し市内全域にCATV施設を整備した。高齢化(高齢化率34.7%：H22年国調)が進展する本市にとって、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる環境整備が課題であったことから、ICTの活用と市民との協働による高齢者の安否確認及び緊急通報システムを整備した。安否確認については一日一回人感センサーで安否確認を行い、独居老人の方の救急搬送及び亡くなられた方の早期発見に繋がっている。また遠方の家族もサービスを利用することにより安心感ができる。緊急通報システムについては高齢者の迅速な救急搬送に繋がっている。

### 2. 取組の具体的内容

#### (1) CATVを活用した安否確認見守りネットワーク事業

一人暮らしの高齢者の自宅に人の動きを感知するセンサーを設置し、その情報をCATV網を通じて市社会福祉協議会の事務所で随時監視するもの。

地域の協力者から構成される「見守りネットワーク」組織と社会福祉協議会、市の3者の連携により運営されている。

#### (2) CATVを活用したひとり暮らし高齢者等緊急通報器設置事業

主に高齢者のみの世帯を対象として、各戸に設置されたCATVの告知端末機器を活用して24時間体制で緊急時の対応ができるようにしたもの。利用者は機器の緊急通報ボタンを押すことにより協力者宅を経由して、最終的に消防署につながる仕組みとなっている。

### 3. 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

一人暮らしの高齢者等が安心して、住み慣れた地域で暮らすことのできる環境の整備

### 4. 現在までの実績・成果

平成24年3月31日現在の加入世帯数

- (1) 安否確認見守りネットワーク事業 … (522) 世帯
- (2) ひとり暮らし高齢者等緊急通報器設置事業 … (836) 世帯
- (3) 安否加入率 79.02%  
緊急加入率 87.40%

### 5. 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

市単独でICT機器だけを活用するのではなく、社会福祉協議会や地域住民との連携による地域ぐるみの「見守りネットワーク」を構築することによって、市民との協働による効率的な高齢者の見守り体制を整備したこと。

### 6. 今後の課題と展開

対象世帯の加入促進とICT機器の更新経費の確保が課題である。